

平成27年度 学校通信
2月号の2
2月16日発行

成文

尼崎市立成文小学校
校長 廣井 尋美
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>

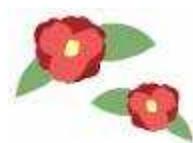
校長 廣井 尋美



感謝状(学校賞)、いただきました！ ～契沖顕彰短歌大会～

2月14日(日)、「第13回契沖顕彰短歌大会感謝状贈呈式・入賞者表彰式」が行われました。全校児童で取り組み、多数の応募があったということで、本校の取り組みに対しての感謝状をいただきました。(昨年度に引き続き2回目！)

この短歌大会は、尼崎に生まれた偉人“契沖(学問の科学的研究法・歴史的仮名遣いの文法の確立をした)”を顕彰し、地域の誇り“契沖”を核に、地域の文化を振興することを趣旨に行われているものです。 ※契沖(けいちゅう)



皆さんは、“契沖”という方をご存知でしたか？尼崎市民として、他市の方々に誇れるよう、略歴を調べてみました。

寛永17年(1640年)、尼崎藩主青山行成に250石で仕えた下川元全の三男として、尼崎の北城内辺りに生まれる。幼少時、父から『実語経』、母から『百人一首』等を読み、11歳で大阪今里の妙法寺に入り、真言宗の僧となり、それらが契沖の生き方の基礎となる。24歳で阿闍梨(あじり)位を授かるが、出世を望まず、己の信じる仏道者の道をひたすら歩む。よき理解者の水戸光圀の死に殉ずるかのように、元禄14年1月25日、62年の生涯を閉じる。

この間、契沖は、40歳の半ば頃、光圀から依頼の『万葉集』の全注釈書『万葉代匠記』を始め、その後、歴史的仮名遣いを発見、体系化した『和字正監鈔』などを従来にない論理実証法で著し、国学の大成者本居宣長などから“古学の祖(新しい古典研究の創始者)”と称えられる。

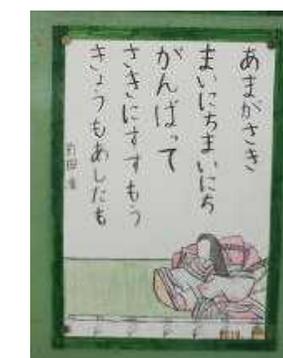
詠草集“契沖阿闍梨の略伝”より抜粋

さて、当日は、♪契沖音頭♪ ♪契沖頌歌(しょうか)♪の披露や児童・生徒・一般の方々の表彰式や入選歌の発表もありました。

【成文小学校児童の入選歌】

- 産経新聞社賞 4年女児
秋の空 夕焼け雲が 広がって
母といっしょに ほっぺがそまる
- 契沖賞 3年男児
楽しいな かまのいい音 ザクザクと
上手に使うって 農家気分だ
- 契沖賞 5年女児
きんもくせい さむい風と いい香り
いっしょにならんで リレーする
- 山の井賞 1年女児
どうぶつえん あしかかわいい あそんでる
とってもおおきい ぎゅうつとしたいな
- 山の井賞 2年男児
ふきのとう ゆきのしたから めをだすよ
ちいさいけれど ちからもちだよ
- 山の井賞 2年女児
赤ちゃんが ねているときに しゃしんとり
おきたらかわいい お目めぐりくり
- 山の井賞 4年男児
ひつじぐも じつとながめて みていたら
ほんとに聞こえた メエメエメエメエ

6年生の掲示物です。



“契沖”の略歴の中で、幼少時、母から『百人一首』等を読み、というくだりがありました。が、本校でも、教室で継続して『百人一首』を学んでいる児童がとてまたくさんいます。きぶね神社での「五色百人一首大会」を経て、第17回五色百人一首兵庫県大会に出場し、優秀な成績をおさめた児童がいますので紹介します。

《第17回五色百人一首兵庫県大会》

- 黄色の部 優勝 3年女児
- 緑色の部 優勝 3年女児



改めて、《継続は力なり》を実感させてもらいました！！

※全て、次回朝会での表彰予定です。先の紹介になりました。

